



種小便い

今金町立種川小学校通信 平成 27 年 10 月 30 日発行 第 8 号

学校教育目標

- 学び合い 高め合う子ども
- みんなと協力し合う子ども
- 美しさを求め 心の豊かな子ども
- たくましく 健康な子ども

学芸会が近づいてきました

校長 安田 彰 浩

学芸会が近づいてきました。子どもたちは、劇に遊戯に合唱・合奏にと、その練習で大忙しの毎日です。体育館や教室など、学校のあちこちから、元気な声や音が響いてきています。一生懸命取り組んでいる子どもたちの姿を見ていると思わずうれしくなってきました。きっととってもすばらしい学芸会にすることができるでしょう。11月8日の学芸会にはどうぞぜひいらして、子どもたちに拍手を送っていただけたらと思います。今年、卒業生も参加してくれる予定です。私も今からとっても楽しみです。気がかりなのは、体調を崩すこと。うがいや手洗いを欠かさず、食事や睡眠をしっかりとするなど子どもたちの体調管理について、お家でもぜひよろしくお願いいたします。



10月始めに種川小学校を会場として、檜山へき地複式教育研究大会を開催しました。種川小学校の授業についての研究を檜山管内の複式校の先生たちに向けて発表し、算数の授業の様子（5・6年学級と4年学級）を見てもらいました。おおぜいの先生方から、授業づくりがとてもしっかりしているといへんほめていただきました。研究の内容もそうですが、それとともに子どもたちの様子もたくさんほめてもらえました。「とっても一生懸命授業に取り組んでいる」「しっかりと考えていた」「自分たちだけでも課題をきちんと進めていた」「文字がとっても丁寧だった」このように、勉強への取り組みの姿勢についてほめてもらえた他、「言葉づかいがとても良かった」という声もたくさんいただきました。種川小にいろいろな機会を通じてお客様が来られますが、その方々も子どもたちの言葉づかいのすばらしさはよくおっしゃっています。とりたてて、良い言葉づかいについて教えているわけでもないのですが、良くない言葉はその場で直させたりしているのが良いのでしょうか。私には、先生たちが自分の話す言葉を意識して丁寧にしたりしていることが、自然と子どもたちにも伝わっていているように思えます。いずれにせよ、指導してくれている先生方に感謝です。

たまたま私がお土産で子どもたちにクッキーを配ったときのこと、「校長先生ありがとうございます。クッキーおいしかったですよ」とわざわざ私のところへ言いに来てくれた男の子がいました。おいしかったですよと付け加えるところがなんともいえません。

給食を食べ終わった後、次のそうじのために全員椅子をテーブルの上にあげてから歯磨きに行くのですが、ある時、机の上にあげないままのいすが一つ残っていました。するとそのそばを通った女の子、「だれだれだな。」と言いながら、その椅子を机の上にあげてくれました。

交通安全指導に私が立っていた時のこと、信号で女の子が一人立っていました。指は、信号機の押しボタンにかかっているのですが、なかなか押しません。車が一台、通り過ぎた後、彼女はボタンを押して信号を変えました。通る車が他になかったのも、やって来る車を先に走らせようと考えたようでした。特別な時でなく、普段、日常の中でふつうに優しい行動、思いやる行動があたりまえに取られているところが素晴らしいところです。

こんな子どもたちが育っていることを、校長としてとっても嬉しく思います。そしてこうした子どもたちを育ててくれている先生たち、支えて下さっている地域の皆さんに改めて感謝です。

檜山管内へき地複式教育研究大会

2日(金)、本校を会場に檜山管内のへき地複式校を代表して、今年度の研究大会を開催いたしました。

子どもたちは、たくさんの先生方に囲まれて、緊張していた様子はありましたが、普段の学習の様子をしっかりと、見ていただくことができました。子どもたちは、はじめは緊張の様子も盛られましたが、みんなの前で、堂々と発表する様子もうかがうことができました。



秋のバス遠足

9日バス遠足で洞爺湖方面に出かけました。前日から「暴風雨」「警戒」の文字がテレビ画面を賑わせていましたが、当日は小雨程度での天候で、肌寒かったものの時折晴れ間も見える天候となりました。遊覧船、ロープウェーと楽しみましたが、子どもたちの一番の楽しみはショッピング。2000円のお小遣いで、おみやげをたくさん買いました。5年生の女子は、「もうすぐ赤ちゃんが生まれるので、お母さんにお守りを買いました。」と話してくれました。



出張アート教室

6日(火)道立函館美術館の計らいで、出張アート教室が本校で開催されました。この教室は、子どもたちに本物の美術品に触れてもらうことを目的に行われ、この日は、函館美術館収蔵の彫刻美術品2点が搬入され、学芸員の久米さんにその紹介をしていただきました。

最初は、布をかぶせた状態。子どもたちは想像を働かせながら作品に触り、スケッチをしました。3年の男子は、「最初何だか全然わからな



かったけど、いっぱい触ったら頭の部分が分かりました。」と楽しそうに答えてくれました。



- 1日(日)~2日(月) 今金町総合文化祭
- 2日(月) 安全点検日 児童会
- 3日(火) 文化の日
- 4日(水) ブックン来校 外国語(高学年)
- 5日(木) 学芸会総練習
- 7日(土) 学芸会前日登校 11:50 頃下校
- 8日(日) 学芸会
- 9日(月)、10日(火) 振替休業日
- 11日(水) 外国語(高学年)
- 15日(日) P T A環境整備作業 8:00
- 16日(月) クラブ活動(パソコン)
- 17日(火) 中学校乗り入れ授業 6年理科
- 18日(水) 外国語(高学年) 職員会議
- 19日(木) ふるさとの恵みに感謝する日
- 20日(金) 午前授業

今金町全教職員の研修のため

- 23日(月) 勤労感謝の日
- 24日(火) 発育測定
- 25日(水)~27日(金) 保健師による歯磨き指導
- 27日(金) 貯金日
- 29日(日) 今金町 P T A 研究大会
- 30日(月) 朝会 種川へき地保育所閉所式

小規模で恵まれた環境にある本校にお子さんを通わせてみませんか

～本校は小規模特認校として、校区外の児童を受け入れております～

種川小学校特認校制度について、Q&Aでまとめてみました。参考になれば幸いです。ご興味・ご関心がありましたら、種川小学校（82-0506）または、今金町教育委員会（82-3488）へ連絡下さい。連絡を心よりお待ちしております。



推進協議会ではフェイスブックを開設しました。「種川小学校小規模特認校推進協議会」で検索。または、右のQRコードで。



Q. 町に住んでいます。登下校の送り迎えをしてくれると聞きましたが、大丈夫ですか。

A. はい、大丈夫です。市街地はもちろん、日進、神丘、豊田など、校外のどの地域にお住まいになっていても、お子さんの通学の足は、保障いたします。

具体的には、種川小学校までの直通便を走らせるか、また、一度今金小学校前でいくつかの方面からのお子さんを集めて、そこから種川便を出すかなど、状況に応じて、交通手段を確保して参ります。

Q. 種川には、知っている友だちもいなく、子どもが仲よくやれるかとても心配なのですが。

A. 大丈夫です。種川小学校は学級の数も3～6名、全校でも14名ですので、すぐに全校の子どもたちと仲良しになります。子どもの順応力は大人よりもずっと速いものです。現在も、他の学校から転校して通っている子もおりますが、毎日楽しく通学しております。子どもの数が少ないので、転入生、新入生は、子どもたちも大歓迎のムードです。

Q. 仕事が忙しくて、PTAや地域行事になかなか出られないことが心配なのですが。

A. ご心配ごもっともです。都合がつかない場合などは、作業への協力、PTAの会議、行事への参加など欠席の場合もあることはいたしかたありません。一方、現種川地区のPTA会員は、特認校制度を利用して、お子さんを転入学させて下さる保護者の皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。可能な限り、学校に顔を出し、コミュニケーションをとっていただくと、保護者にとっても、お子さんにとっても充実したPTA活動、教育活動になることは、間違いありません。無理のかからない範囲でご協力いただければ、大丈夫です。

Q. 特認校制度を利用するのは特別支援学級の子どもだと聞いていますが、本当ですか。

A. いいえ、そんなことは、ありません。今金の特認校制度は、少人数での特色ある教育を進める種川での教育を希望される保護者・児童の皆さんが対象となる制度です。

Q. うちの子どもはすでに今金小学校に通っているのですが、新入生以外でも受け入れてもらうことはできますか。

A. はい、PR活動は、こども園や保育所などこれからお子さんを小学校に通わせようとしている保護者の皆さんを中心に行っておりますが、今金小学校に現在通っているお子さんについても、ご希望があれば教育委員会、今金小学校とも十分相談の上、受け入れについて考えていきます。平成27年度の在籍状況は、1年生0人、2年生1人、3年生2人、4年生4人、5年生4人、6年生3人です。

Q. 種川小に通わせるメリットはどんなことですか。

A. はい、まず、第一に、少人数学級ゆえに個別指導が行き届いていることです。勉強でわからないところは、わかるまで、じっくりと教えることができます。第二に充実した「ふるさと学習」です。地元の「ふるさと先生」とさまざまな体験活動ができますし、また、校外に出かけての学習も充実しています。そして、何よりも最大のメリットは、恵まれた自然環境の中で、種川小学校の子どもたち全員がファミリーのように仲よく、一緒に遊び、一緒に勉強して、小学校時代の思い出をたくさんのページで飾ることができることです。

ハウスはぶどうの香りでいっぱい

～千葉進さん宅でぶどう狩り～

毎年、子どもたちのためにぶどう狩りを楽しませて下さっているのは、地元の酪農家の千葉進さん。今年も巨峰をはじめ、十数種類のぶどうがハウスいっぱいに実っていました。おいしそうな房を千葉さんにとってもらった4年生の女子は、「とってもいいにおい。家で待っているお母さんもきっと喜ぶと思います。」と嬉しそうに話してくれました。



全国学力・学習状況調査結果

4月に本校6年生3名を対象に行われました全国・学力学習状況調査の結果が届き、近々保護者の皆様に結果をお渡しする予定です。

実施されました国語・算数・理科の全体的傾向としては、無答が少なく、最後までがんばっている様子がうかがわれました。国語については、指定された文字数で答えること、算数では、一部の領域で理解が不足していることがわかりました。これを受けて、課題のあった部分について今後の指導に生かして参ります。また、質問紙では、生活リズムの定着、学校が楽しい、宿題を必ずやる、読書が楽しい、家庭のコミュニケーションがとれているなどの項目に「良い」と答えている児童が多かったのが特徴でした。

今後も家庭と連携しながら、子どもたちの学力向上に努めて参ります。